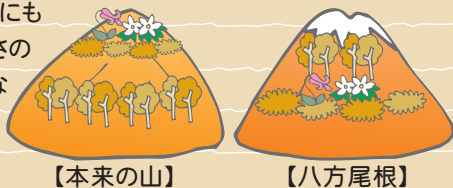


八方尾根レポート Q & A

Q 高山のお花が多く、大きな木がないのはなぜ？

A 【八方の特殊な地質・植生の逆転現象とは!?】
特殊な【蛇紋岩】と呼ばれる地質により、黒菱平から八方池上部付近まで、本来標高2500m以上の高山でしか見られない低木林や希少な花々が咲き、八方池上部より上になると、標高が高くなるにもかかわらずダケカンバ林が現れます(下ノ樺・上ノ樺)。このように通常は現れないはずの低い標高に高山植物が生育し、高い標高にダケカンバ林が生育している逆転現象が八方尾根の特徴です。

また半年間もの間、3~4mにもおよぶ雪の下で、厳しい寒さの環境を耐えた貴重で豊富な高山植物をすぐ足下に見ることができます。



【本来の山】

【八方尾根】

Q 秋の八方尾根を彩る紅葉樹木は？

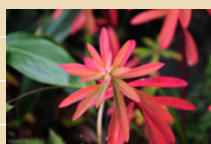
A 錦秋の季節になる9月下旬には黒菱平から八方池にかけて紅葉が色づきはじめ、10月初旬~中旬にかけて低樹木が緑色から黄・赤色の紅葉に変わり、白く冠雪した北アルプスの三段紅葉の壮大な景観は多くのハイキング客を魅了しています。



ナナカマド 七竜

葉の形は根本から先端までギザギザで、秋には鮮やかに紅葉し、赤い実を成らせる。竜(かまど)に7回入れて燃やしても残ることから、この名前が名付けられたという。

【主に見られる場所:登山道コース、八方ケルン付近】



ハクサンタイゲキ 白山大戟

日本固有種。細長い楕円形の葉は、互い違いにつき、茎の先の葉は丸くて数枚が輪生し、秋になるといち早く紅葉し秋の訪れをつげる。高さ20~50cmの多年草。

【主に見られる場所:黒菱平、木道・登山道コース付近】



コナラ 小樺

葉はギザギザした倒卵状楕円形で黄・赤色に紅葉し、中心に実のドングリが熟す。堅果に休眠性がなく、落下して1か月足らずで根を出す。子葉は地下子葉として冬を越す。

【主に見られる場所:黒菱平付近】



ミネカエデ 峰楓

落葉の小高木で、長さ幅とも5~9cmの葉は5~7枚にわかれ鮮やかに黄葉する。高山に生えることから峰楓の名前が名付けられたという。

【主に見られる場所:黒菱平付近】

Q 紅葉見頃&見所は？

9月			10月			11月		
上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
			八方池~八方ケルン					
			八方池山荘~黒菱平					
			黒菱平~山麓					

雨飾山 焼山 火打山 妙高山 高妻山 戸隠山 飯綱山 横手山

四阿山 浅間山

ハケ岳連峰 美ヶ原

Q 岩がゴロゴロしているのはなぜ？

A ゴロゴロした岩は特殊な【蛇紋岩】です。蛇紋岩は本来地表に現れませんが、八方尾根は雨や強い風を受ける環境により、地表に現れている珍しいエリアです。

蛇紋岩は粘土質のためにもろく崩れやすいので、ゴロゴロした道になっています。雨の日など岩が濡れているところは滑りやすいので、ご注意ください。



Q 『蛇紋岩』ってどんな岩？

A 蛇紋岩(超塩基性岩)は「かんらん岩」などの超塩基性岩が蛇紋石化によって生成したもので、紙を重ねたように見える葉片状の部分と、塊状の部分がみられます。表面がヘビの皮の模様に見えることから蛇紋岩と呼ばれ、マグネシウムや鉄などを多く含む岩石です。水分を含むと破砕、風化しやすく粘土質となり、土壌間の結合が弱いために、地層の流動を起こしやすいのです。また、マグネシウムの成分が植物の水分吸収能力を低下させることから、乾燥に耐えられるアカマツ林や、根の浅いツツジ科植物の群落になることが多く、生存競争が低いことも加わって特有の固有種が生育するなどの特徴があります。



【葉片状の蛇紋岩】



【塊状の蛇紋岩】

Q 尾根の中腹に水を湛える『八方池』とは？

A 八方池は雪に押し流された土砂の堆積でできた池で、雪解け水や雨水によって自然が造り出した神秘的な天然池! 水深は最も深いところで4.4mほどで、八方池の周りには種類豊富な高山の花々が咲き、サンショウウオやモリアオガエルも生息しています。

中部山岳国立公園にも指定されているので、希少な自然の保護を心がけましょう。



Q おすすめビュースポットは？

A 『オープンテラス』『雲海デッキ』から望む日本百名山ビュースポット! 白馬岳、五竜岳、鹿島槍ヶ岳、雨飾山、火打山、妙高山、高妻山、四阿山、浅間山、ハケ岳、美ヶ原の日本百名山11峰と、焼山、戸隠山、飯綱山、横手山の山々を眺めることができますので、ハイキングの途中にぜひパノラマ風景をお楽しみください。山のことはお気軽にスタッフにお声がけください。

